

人間総合科学大学 学修達成度自己評価 DP対応ルーブリック【人間科学部 心身健康科学科】

入学時 卒業時

主に関連するDP			項目	内容	基準			
大学全体	学部	学科			1	2	3	4
*	*	*	人間および心身相関の科学的・総合的理解	人間と社会の諸側面について幅広い知識を持ち、健康が心理的・社会的・文化的側面と密接に関わることを理解している。	□「心身相関」を基本にし、人間に関する科学を学際的に学び、総合的に人間を理解することの重要性を理解している。自身の体験をもとに、日常生活における心身相関の例をあげることができる。	□一人一人がストレス社会を力強く生きていくことに関連する、「心身相関」の仕組み、および、他者や環境との関係性を理解している。	□生命進化及び人類進化についての知識を学び、生物としてのヒトの心身の健康を進化的観点から考えることができる。	□人間の歴史を「文化・社会」の視点を通して学び、健康と社会的環境との関連を理解している。
*			knowledge for well-being の理解と実践	現実社会を「よりよく生きる」ために、洞察力、共感性、創造力、表現力、自己教育力、生涯学習意欲、豊かな人間性が必要であることを理解し、実践している。	□発達・ライフサイクルに伴う心身の特徴を学び、各時期の特徴を活かして生涯学習、「よりよく生きる」知恵について考える必要性を理解している。	□人間に備わる共感能力について、その発達も併せて、科学的に理解できることを知り、「よりよく生きる」こととの関連を理解している。	□進化的視点を含む新しいストレスの考え方を学び、現代社会に生きる人間について総合的に洞察する努力を実践している。	□人間らしさを育んできた「文化・社会」の統合理解に必要な基本的知識を学び、未来を切り開く創造力を高めるために活用する努力を実践している。健康や生き易さについて、コミュニティとの関連を理解する。
*	*		自立と共生の理解と実践	社会における「自立」と他者との「共生」には、社会的責任感、異文化理解、情報処理力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーション力などの資質が必要であることを理解し、実践している。	□「心身相関」を基本にし人間を総合的に理解する学びをもとに、健康問題について自分の頭で考えることが、社会における「自立」に必要なことを理解している。	□他者との「共生」に必要な、他者への思いやり、コミュニケーション力の基盤の一つに、乳幼児が周囲のおとなとの相互作用により共感システムを発達させることがあることを理解している。	□人類進化の過程における個人と社会の関わりについての学びをもとに、社会における共生に必要な社会的責任感について自ら考えることを実践している。	□「文化・社会」の統合理解をめざした学びをもとに、異文化への理解を深めること、自らの可能性を最大限に発揮するための努力を実践している。
*	*		プロフェッショナルリズムの理解	専門職の責務を自覚し、強い責任感と倫理観を持って自身が持つ専門的知識と技術をもって、社会に貢献し、人々の幸福と健康に貢献する決意を持っている。	□プロフェッショナルリズムの基礎となる知識を修得している。	□プロフェッショナルリズムを持った所属学科・専攻分野の専門職の役割を明確に表現することができる。	□所属学科・専攻分野のプロフェッショナルに求められる知識と技術の重要性を理解している。加えてその習得に努めている。	□社会において、自身が目指す専門職種と関連する他職種、他領域との関係を踏まえ、プロフェッショナルとして人々の幸福と健康に向けた実践をすることができる。
*			社会人リテラシーの修得	社会貢献に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス（リテラシーレベル）の基礎力。	□社会人リテラシーとは何かを知り、構成する各能力について理解している。	□社会人リテラシーを構成する各能力を修得に向け学んでいる。	□社会人リテラシーを構成する各能力を自らの専門フィールドでの学びに活用を試みている。	□社会人リテラシーを修得し、自身が目指す専門フィールドでの学びに活用している。
	*		キャリア形成に向けた計画と実践	自身が目指すキャリアを明確化し、その形成にむけて、いつ何を行い、知識や技術、態度を修得しなければならぬかを理解し、計画的に実行しているか。	□キャリア形成のついて概略を説明できる。	□自身が目指す専門職キャリア形成に必要な要素を明確に表現することができる。	□自身が目指す専門職キャリア形成に向けての知識や技術、態度を修得している。	□卒業後に従事する自らの専門職を意識し、キャリアの実現に向けての実践ができる。
		*	人間の多面的理解を支える専門知識	人間と社会の多面的な側面について、「こころ」「からだ」「環境・社会」のそれぞれの領域に関する専門知識を持っている。	□「こころ」「からだ」「環境・社会」の視点から多面的に人間を学ぶことの重要性を理解できている。	□「こころ」「からだ」「環境・社会」のそれぞれの領域の基礎的専門知識を修得している。	□「こころ」「からだ」「環境・社会」のそれぞれの領域の高い専門知識に基づいて人間理解を深めている。	□「こころ」「からだ」「環境・社会」に関する専門知識をもとに人間と社会の諸事象を多面的に論じられる。
		*	人間総合科学の構成領域をつなぐ統合的知識	「こころ」「からだ」「環境・社会」の統合的・学際的な知識を持っている。	□人間について、「こころ」「からだ」「環境・社会」の視点から統合的・学際的に学ぶことの重要性を理解できている。	□「こころ」「からだ」「環境・社会」の関連性に関する学際的知識を修得している。	□「こころ」「からだ」「環境・社会」に関する学際的な知識を自ら相互に関連付けて考察できる。	□「こころ」「からだ」「環境・社会」に関する学際的知識をもとに人間について統合的に論じられる。
		*	学際的視野からの社会生活課題探求と解決能力	専門知識を学際的視野から、自身や社会・職業上の問題関心を科学的に問題を解決する能力を身につけている。	□自身や社会・職業における問題に関心を向け、問題点を見いだすことができる。	□自身や生活・社会・職業上の問題について、科学的に解決するための専門知識を身につけている。	□自身や生活・社会・職業上の問題についての科学的解決の糸口を、学際的視点から見出すことができている。	□自身や生活・社会・職業上の問題について問題点・課題点を明確にして、学際的な専門知識を用いて解決に向けた科学的な探求を実践できる。
		*	専門知識を踏まえた社会貢献の意欲と能力開発	現代社会と今を生きる人間に深い関心を持ち、新しい展望と視座に立って、心身ともに健康で豊かに暮らすことができる社会の構築に寄与できる能力を身につけている。	□人間に深い関心を持ち、心身ともに健康で豊かに暮らせる社会を構築に向けた社会貢献に必要なもの・ことを捉えることができている。	□現代社会において、心身ともに健康で豊かに暮らすことができる社会の構築に向けた社会貢献に必要な専門知識を身につけている。	□心身ともに健康で豊かに暮らすことのできる社会の構築にむけて課題を把握できている。社会貢献への意欲を持っている。	□学際的専門知識を用いて、現代社会に即した心身ともに健康で豊かな暮らしの構築に向けた社会貢献を実践できる。